

北里大学病院を受診された患者さん・ご家族の方へ

当院では下記の臨床研究を行っています。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお申し出ください。

研究課題名 (整理番号)	経皮的僧帽弁閉鎖術による三尖弁逆流流量変化の関係と予後予測因子の関係 (B26-019)
当院の研究責任者 (所属・職位)	医学部総合診療医学 助教 加古川 美保
本研究の概要・背景・目的	経皮的僧帽弁閉鎖術は、僧帽弁逆流症の治療として有効な治療法であることが知られています。しかし、同時に三尖弁逆流症を合併されている患者様では、効果が期待できる場合とそうでない場合があります。術前の予後予測因子は未だに解明されておりません。本研究では、予後因子を同定し、経皮的僧帽弁閉鎖術により改善し得る三尖弁逆流症および術後の心血管イベントの発症の有無を解析する目的で行います。
調査データ該当期間	2019年1月7日から2024年11月22日までの情報を調査対象とします。
対象となる患者さん	2019年3月7日から2024年9月1日に経皮的僧帽弁閉鎖術を施行された方
研究の方法 (使用する試料等)	利用する情報 2019年1月7日から2024年11月22日までのカルテに記載のある診療記録、検査データを利用します。
試料・情報の 他の研究機関への 提供および提供方法	本研究では他の研究機関に試料・情報を提供する予定はありません。
利用又は提供を開始 する予定日	利用又は提供開始予定日：研究機関の長の許可日から
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究の遂行のための費用は循環器内科学研究費を使用する。研究に関する利益相反は、北里大学利益相反委員会で審査を受け適切に管理される。
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。 また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究の対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。 ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には提供していただいた試料・情報に基づくデータを結果から取り除くことができない場合がありますが、公表される結果には特定の個人を識別することができる情報は含まれません。 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 所属・職位：総合診療医学 担当者：加古川 美保（カコガワ ミホ） 電話：042-778-8111（代表）